

# 見ての感じてお食べてみよう! ~生産者さんを紹介します!~

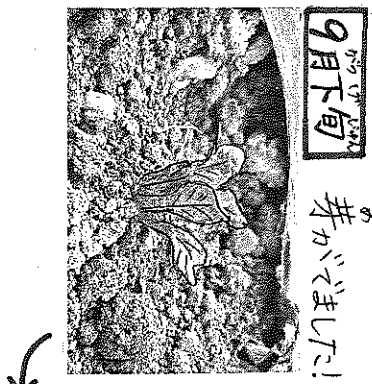
今月の給食では、益田翔陽高等学校 生物環境工学科の生徒さんが育てた「じゃがいも」を給食で提供する予定です。じゃがいもは、翔陽高校さんにお願いで、学校給食用に植えていただきました。作付けの時には、山本浩章市長や、翔陽高校の佐々岡校長先生、いつも給食を作ってくれている調理員さんも参加し、学校給食に関わる人みんな、益田市の子ども達のために、じゃがいもを植えました。今回は作付けの様子やじゃがいもの生育過程について紹介します。



山本浩章市長(写真右)も作付けに参加してくださいます!!



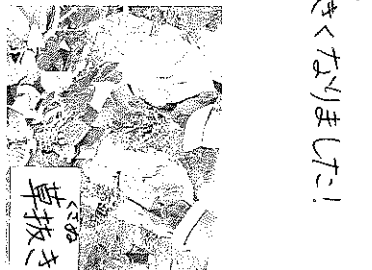
9月上旬 作付け



9月下旬 草がびきました!



11月上旬 こんなに大きくなりました!



草抜き

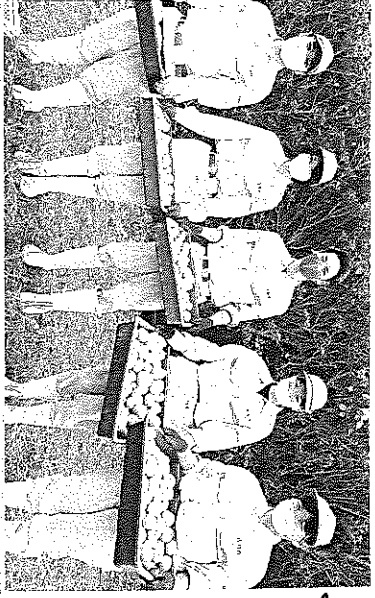
芽が出やすいように種々の芽がでているほうを上に植えます。

ホクホクとした食感が特徴の「キアチリ」というとてもおいしい品種のじゃがいもです!!



みんなが参加して植えました!

秋に植えるじゃがいもは、育てることが難しく、お世話がとても大変です。じゃがいもを植えて1か月半、生徒さんたちが草抜きをしたら、じゃがいもが大きくなるのに肥料をあげたり一生懸命お世話をしてもらいました。



私たちや、給食に関わっている人の思いが伝わったじゃがいもです。ありがとうございます。また、将来農業や食に関する学びたい人、ぜひ翔陽高校へ来てくださいますね!

翔陽じゃがいもは、1月27日の給食で使います!おたのしみは「ゴ」